

今号のわだい

- 【1面】第33回女性集会in神戸
 【2面】思い訴えた!厚生労働省交渉
 宮崎・口蹄疫被害に支援を
 【3面】NPT・国連要請行動レポ②

全厚労ニュース

全 国 労 働 組 合 連 合 会
 厚生連
 〒110- 東京都台東区入谷
 0013 1-9-5
 TEL 03-3874-3591
 FAX 03-3874-3593
 発行日 毎 月 20日
 定 価 30円



笑いの絶えない淀先生の講演に聞き入る参加者

自分たちが良くなることで看護や介護の現場で患者さんにかえしていけるということに確信をもってもらいたいと思っていました。と集会にあたっての気持ちを語りました。

続けて教育講演として「女が立つ時歴史がかわる」と題し、中央労働委員会・労働者委員の淀房子先生(全医労出身)を講師に学習を行いました。



淀房子先生

淀先生は講演で「女性には命を育み、次世代に命をつないで、しなやかに生きてきました。男性の力が大きい事は否定しないけれど、大きな力をもつがゆえにコントロールできずに破壊へとつながることがあります。それを上手にコントロールするのも女性の役目であろうという風に思っています。」

日本で初めてのストライキが女工哀史で有名な富岡製糸場(群馬県)で行われました。女性は大きな困難に直面した時、負けるものか!と踏ん張る力があります。女性が本当に輝く時代は力の弱い子供たち、もうい男性たちも輝けると思います」と女性の持つ魅力を語るとともに「わたしたちの沈黙は国をゆがめ、社会を変な方向に持っていく。あるいは平和の危機になってしまふ。物を言うべき時に物を言わなければ、諦めや我慢は患者・職場の仲間・

同じ職場の仲間がこの間流産しました。悲しい知らせでした。労働条件が決して悪いわけではないと思うがすぐに言える環境でな

あるいは自分を殺す結果になってしまふ。

女性よ!男性よ!若者よ!

いま怒るべき時だ、立つべき時だ。誇りを持って幸せのために仲間や子供たちの未来のために今できることをできる人から少しずつ、自分と仲間を信じて歩いていきましょう」と声をあげていくことの大切さを訴えられました。

参加者アンケートより

女性集会に参加して

教育講演について。労働組合の歴史や女性が権利を主張してきた歴史について分かりやすく教えて頂きました。仕事を続けていくために生活を確立していくために自分の労働条件、環境を自分たちの手でより良いものにしていかなければならぬという声に出して活動していくことがとてもよく分かりました (茨城)

「あきらめや我慢は誰かを殺す」という言葉に感動しました。迷惑がかかるからと権利を取らないでいるとなんのためにものならない。美德ではない。みんなが休みを取れる環境づくりが大切と改めて思いました (福島)

「小さな力を合わせれば大きな力になる」と教えてもらいました。何の取り柄もありませんがじっくり聞く人になりたいと思います。色々な特技を生かして楽しくパワーを爆発していきたいです (徳島)

淀先生の今までの経験を踏まえながら女性が立ち上がるためにどうしたらいいかを楽しく学ぶことができました。今の職場が個人個人に優しいものであるのは先駆者がいたからなのだ。これからも頑張っ

て組合活動をし、皆で平等に権利を利用できる方法を考えていきたいです (栃木)

健康で美しく働き続けるためには何をしたらいいのかについて職場の問題点や課題をあらかじめにする事を目標に、8名程度の小グループに分かれて討論。それぞれ現場で不満に思っている事を付箋に一枚一枚書き込み、関連するものをグループ分けしながら大きな紙に張り付けて行きました。

2日目にはグループごとの討論内容を発表しあった後、全体まとめ集会での報告を行いました。まとめとして折笠副委員長、閉会のあいさつを富永担当中執(吉田)が行い、集会の幕を閉じました。

組合活動の歴史を学べました。現在ある色々な制度・権利は多くの先輩方の苦勞と努力の成果と分かった。で権利を放棄する事なく、いかにして活かせるのかを考えていこうと思います (新潟)

1日目全体会の後から2日目にかけての分散会ではKJ法を活用してグループワークを行いました。

厚生連病院で一番多い徳島でも10日。低いところでも3日と、ほとんど取れない人が多くあります。自分の休みを取って余暇を楽しむようにしてもらいたいと思います。な

ど権利行使を呼びかけました。

健康で美しく働き続けるためには何をしたらいいのかについて職場の問題点や課題をあらかじめにする事を目標に、8名程度の小グループに分かれて討論。それぞれ現場で不満に思っている事を付箋に一枚一枚書き込み、関連するものをグループ分けしながら大きな紙に張り付けて行きました。

2日目にはグループごとの討論内容を発表しあった後、全体まとめ集会での報告を行いました。まとめとして折笠副委員長、閉会のあいさつを富永担当中執(吉田)が行い、集会の幕を閉じました。

女性が本当に輝く時、子どもも男性も輝く

全厚労第33回女性集会



KJ法を使った分散会での発表

厚生連病院で一番多い徳島でも10日。低いところでも3日と、ほとんど取れない人が多くあります。自分の休みを取って余暇を楽しむようにしてもらいたいと思います。な

ど権利行使を呼びかけました。

健康で美しく働き続けるためには何をしたらいいのかについて職場の問題点や課題をあらかじめにする事を目標に、8名程度の小グループに分かれて討論。それぞれ現場で不満に思っている事を付箋に一枚一枚書き込み、関連するものをグループ分けしながら大きな紙に張り付けて行きました。



ダンスや寸劇で盛り上がった夕食交流会

6・1 厚生労働省交渉

現場の声を踏まえた
医師・看護師確保対策を

6月1日、全厚労は春の厚生労働省交渉を、医師2名、看護師9名（専従含む）など、総勢33名の参加で行いました。紙面との関係で、交渉の詳細については、別途報告を検討しますが、全厚労ニュースでは、参加者2名からの感想を掲載します。

統計データ分析でなく
現場の実態から改善を

看護師の立場から今回初めて参加しました。昨年、政権交代となり官から民へ、コンクリートから人へと政策転換を行い様々な政権公約を掲げた後、診療報酬のアップや医療再生に向けた動きのある中で交渉となり、今行政がどのような姿勢でいるのか？これからの医療はどう進むのか？厚生労働省の方々の対応に興味を持ちました。

私達の要請に対し、評価できる回答はありませんでしたが、現場の意見をしっかりと聞き入れようとする姿勢は感じられたように思います。ただ全体的に交渉の中で、度々出てきたのは統計調査やデータ分析による説明が多くあり、それだけによる判断をもとに政策を行っているような印象を



医師対策について追及する北厚労・中野先生と長厚労・北澤先生（右から2番目と3番目）

由や充足されない理由についても、もっと踏み込んだ目の行き届かない細かなところまで、現場の意見を聞いて反映してもらうことが重要であると感じました。

労働組合にできる事、行政や法律でしかできない事があり、それぞれの役割を果たすことでお互いに理解が得られるのではないかと思います。このような交渉を今後も継続していかなければいけないと感じました。 富厚労 前野 典綱

声を出し続けること
言い続けることが大事

初の厚労省交渉参加ということで、若干緊張していた上に、直前の打ち合わせ会議で急に全厚労ニュースへの感想を書くことになり、更に緊張が高まりました。何か仕事を与えていなければ、すぐボーっとする私の性格を見抜いた竹田書記長の人選と思われました。

それはさておき、午後から始まった交渉では、まず

制勤務については法制化していったほしいと要求しました。

いずれの要求に対する回答も、立て板に水の如く流暢な答えであるにもかかわらず、頭の悪い私が聞いていても「要するに現状維持」とわかる答えでありました。悲しい哉…

約2時間の交渉の中、明らかに前進というわけでは

なかったと思いますが、声を出すこと、出し続けることが大切なのだと学びました。

一つひとつのやり取りの中で佐藤執行委員長の間合いの素晴らしさに感動を覚えつつ、あつという間の2時間でした。いい経験・勉強になりました。ありがとうございました。

香厚労・田村 順子

宮崎・口蹄疫被害へ
全国からできる事、支援しよう

全国食健連で調査激励団

宮崎県の口蹄疫被害は、6月14日、新たに西都市に感染牛が見つかり、感染確定・疑い例が計289例、殺処分される家畜は19万7千頭を超えています。

6月6・7日、全国食健連（国民の食料と健康を守る運動全国連絡会）の求めに応じて、「宮崎口蹄疫調査・激励行動」に参加してきました。

地域も住民も疲弊
早く元の状態へ

牛、豚など偶蹄類の動物が罹る口蹄疫が、4月下旬から宮崎県内で確認され、14日現在までに6市5町で発生しています。

この行動では、現地の農家や地域の状況調査、地元JAや県副知事との懇談とともに、「口蹄疫対策県民ネットワーク」の結成に立

ち会い、全国からの激励を行ってきました。

殺処分にあたる県営企業労働組の方の話によると、通常の仕事とは別に10日に一度、殺処分作業にかり出されて1日14時間、既に4回参加しているそうです。牛や豚を囲いに誘い込み、麻酔で弱らせたところに獣医が薬物を心臓に注射するのですが、数百キロもある牛や豚を動かすだけで、相当の重労働、悲鳴を上げる家畜たちの事を思うと肉体的にも精神的にも参ってしまう職員も多々出てきています。

農場に隣接する小学校では、断末魔の叫びを生徒たちが聞き、怯えるようになっており、その



畜産現場を説明する県公企労・釘元委員長（要望により一部モザイクを入れています）

トラウマも問題になっています。

JA尾鈴の組合長さんとの懇談では、連日不眠不休の対応で、疲労困憊の様子でしたが、全国からの支援に感謝されつつ、農協が畜産関連で得ていた収入110億が一気にゼロになって、農協本体が立ち行かなくなると不安を述べられていました。

幸いにもえびの市では、4例の発生をもって、行動規制解除がなされましたが、一番被害がひどい川南町や都農町では、殺処分も追いつかず、殺す運命の家畜たちを飼育し続けている農家もあります。

埋却地の不足も問題になっていますが、畜産関連業界の問題（運搬・加工や飼料業界での操業停止、従業員の一時帰休や解雇など）や、地域の商店街では7割以上の商店が前年比の5割以下へと売り上げが落ち込んでいることなど、地域経済全体が再生不能、ギリギリの状態にまで追い込まれているそうです。

口蹄疫に係る特別措置法（2年間の時限立法）が急

川南町商店街に掲げられた横断幕



町役場に入出入りする車は念入りに消毒（川南町）

連、成立しましたが、農家に補償があってもえさ代等にしかならず、酪農を再建するためには、改めて出荷が出来る状態で無収入になる中で、融資ではなく、きちんとした助成や様々な支援が必要です。ましてや疲弊した地域経済にも直接手当することが必要です。

この問題は、宮崎だけの問題ではありません。日本は、この口蹄疫の発生によって、国際的には「清浄国」から「汚染国」となり、肉の輸出（特にブランド肉）が制限される事態にもつながっています。

全国の私たちが
支援できることは

一番怖いのは、この問題による風評被害が続くことだと言います。出荷されている肉については、十分安全性が確認されているものの、「宮崎産」ということだけで買い控えが起こり、値下げしても売れない、連

休明けくらいからは観光客も落ち込み、ホテルのキャンセルやイベントの中止も相次いでいます。

私たちが当面支援できることは、ネットでもスーパーでも構わないので、積極的に宮崎産の農産物を購入すること、各団体で扱う義援金（義援金詐欺も起きているので注意！）にも応じることでしょうか。

全国食健連では、政府への働きかけの他、義援金への取り組み、「県民ネットワーク」が予定している宮崎産肉製品の紹介・普及や、宮崎へのツアー呼びかけなど、様々な手段で支援することになっています。

赤松農水大臣は、口蹄疫問題の責任を取って、交代しましたが、日本農業全体をどう支え、安全で安心な食糧を供給させていくのか、国の責任も問われますし、私たち国民の確かな選択も求められると思います。

全厚労 松尾 晃

ニクス笑ア70
芝罘 ☆ 友 衛 行



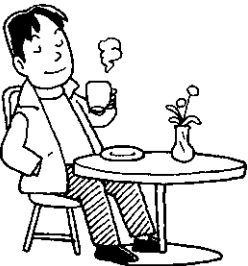
Q

職場が忙しくてなかなか有給休暇を消化できません。
せめて買い取ってもらうことはできないのでしょうか？

A
×

年次有給休暇（以下有休）は翌年繰り越せますが、2年たつと時効になってしまいます。毎年消化できずに捨ててしまっていると考えると、「せめて買い取ってもらいたい」という要望はよく分かります。

しかし、労働基準法は「有休を与えなければならぬ」として、有休を金銭を支給しても有休を与えた事にはなりません。「有休の買い上げの予約をし、これにもとづいて有休の日数を減らしたり、与えないことは労働基準法第39条に違反する」という行政通達も出されています。そもそも有休は心身の疲れをとり、リフレッシュするためのものです。有休の買い取りをするということは金銭によって労働者の貴重な休みを奪うものであり、たとえ労働者の同意があっても認められません。有休は完全に消化することを目指していくべきものです。



〈表〉有給休暇の法定付与日数

勤続年数	半年	1年半	2年半	3年半	4年半	5年半	6年半以上
週の所定労働時間							
30時間以上	10日	11日	12日	14日	16日	18日	20日

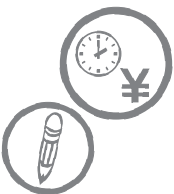
(30時間未満は前号をご覧ください)

!!+αクイズ!!

今月末に退職を予定しています。有給休暇の残り日数が退職までの勤務日数を超えていました。消化しきれない分を買い取ってもらうことはできないのでしょうか？

よくわかる
労基法クイズ
第15回

職場で大切な権利をクイズ形式で学んでいきます



私たちの声が追いつめた「核廃絶への流れ」

NPT・国連要請行動レポート

2



カバクテラン議長らに託した690万筆の署名

再検討会議を翌日に控え奔走しているお二人が核兵器廃絶を求める私たちの行動を真剣に受け止め、行動で応えてくれたので

す。デモの出発が遅れたせいで日本代表の到着が1時間も遅れましたが、2人とも国連ビルの前で待っていてくれました。無事に署名の一部を手

渡すと、「みなさんの署名をこの目で見たい」と署名が積み上げられているハマーシヨルド広場まで2人が歩き出しました。広場には690万筆を超える署名が山のように積み上がって

ました。3月中旬に船便で送りだした分が約400万筆でしたから、その後集めた300万筆近くを代表団一人ひとりが手分けしてスリーケースに入れてNYまで運んできたのです。署名をしてくれた人達や送り出してくれた職場や地域の人達のためにも、一筆ももらさず署名を届けるというNY行動の大きな目的に、代表団1500人が力を合わせたことが文字通り目に見える形になったのです。

翌日は会議開会のあいさつでカバクテラン議長はこの署名に触れて「市民社会の熱意に私たちは応えなければならぬ」と会議の成功を各国政府に呼びかけました。その後4週間にわたる議論をへて、5月28日、再検討会議は最終文書を全会一致で採択し閉会しました。成果を得られなかったどころか「失敗」とまで言われた前回から比べると、核兵器廃絶の「明確な約束」が改めて確認され、中東非核地帯化にむけた会議を20

デモと並行して日本や世界中から届けられた「核兵器のない世界を」アピール署名をNPT再検討会議議長のカバクテラン大使（フリピン）とドゥアルテ国連上級代表に提出しました。

また並行して日本や世界中から届けられた「核兵器のない世界を」アピール署名をNPT再検討会議議長のカバクテラン大使（フリピン）とドゥアルテ国連上級代表に提出しました。

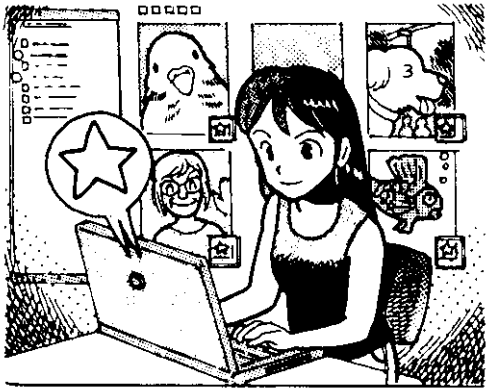
また並行して日本や世界中から届けられた「核兵器のない世界を」アピール署名をNPT再検討会議議長のカバクテラン大使（フリピン）とドゥアルテ国連上級代表に提出しました。

また並行して日本や世界中から届けられた「核兵器のない世界を」アピール署名をNPT再検討会議議長のカバクテラン大使（フリピン）とドゥアルテ国連上級代表に提出しました。

また並行して日本や世界中から届けられた「核兵器のない世界を」アピール署名をNPT再検討会議議長のカバクテラン大使（フリピン）とドゥアルテ国連上級代表に提出しました。

役に立つサイト
&フリーソフト

Picasa3



旅行やレジャーなどで撮影した画像データは大量にあり、整理が大変。そんな方に役立つのが、グーグルから無料で提供されているデジタル画像管理ソフトです。編集や検索など、機能も充実しています。

逆光で薄暗く撮影された画像はコントラストや色合い調整で明るく、余計なものが写りこんで

まった画像は切り抜きをして、美しく加工ができます。シミなどのある古い写真もスキャナーで読みこんで、レタッチツールを使えば、良好な状態に戻せます。

イベントごとに分類していても、見たい画像を探し出すのは一苦労ですが画像にコメントを入力し、保存することで、すぐに検索が可能です。



12年に開催する事が合意されるなど、いくつかの進展を盛り込むことに成功しました。しかし、英、露、米、仏などの核保有国の抵抗により、具体化の措置はことごとく削除され、私たちが求めてきた内容には程遠いものになりました。

(国吉綾乃)

帰って来た 各県この人

各県・現場で運動に、趣味に、仕事に頑張る人々を紹介するコーナーです。
第40回は愛知・大分をお願いします。



愛知 鈴木慎吾さん

今日は、2年ぶりに渥美病院に帰ってきた鈴木慎吾さん取材しました。

ー2年間の愛厚労専従おつかれさまでした。いかがでしたか？

「はい、心労と過度の弁当摂取により、余分三兄弟を手に入れた代わりに、頭皮の健康を失いました。」

ーその苦労をもう少し詳しく教えてください。

「家族の絆を強める週末には不在、片道2時間弱の通勤のために早起きを余儀なくされ、夜は会議会議で遅く、酔っ払いの深夜工事現場の穴に落ちたこともありました。」

ーやはり、専従というお仕事は大変なんですね。では、現場復帰しての今後の抱負をどうぞ！

「そうですね、体質（経営）改善をし、髪の毛（収益）を増やしたいです。」

ー渥美病院企画室で地域医療の将来について語る鈴木さんでした。

注：真面目なコメントは本人の意思に関係なく、編集部によりカットされております。

大厚労からは「海猿」…いえいえ「飛び猿」こと幸 智彦さんを紹介したいと思います。
彼は週末になると大きなバッグを車に積み、高原まで車を走らせます。高原に着くとまずはお茶を一杯飲み、準備体操。それからバックの中の荷物を取り出しチェックしていきます。何をしているのでしょうか？そう、彼はパラグライダーのパイロットなのです！



大分 幸 智彦さん

準備を終え山頂に到着すると、彼は一本ずつラインを確認し、風を待ちます。そしていざテイクオフ。目の前には広い高原、その先には別府の街並みも見えます。鳥のさえずりや風の音なども聞こえてきます。

しばらくして彼は地上に戻ってきました。そして「いやあ。最高っス！」と言いながらまた山頂へと消えていきました。そんな彼をこれからも応援していきたいと思っています。

助け合いの輪が広がった！ 共済加入促進 キャンペーン 福厚労

福厚労では、春闘期間中の組織拡大の取り組みとして、毎年の更新時期である5月を「共済加入促進キャンペーン」と称し共済加入の促進を図りました。福厚労では、今までは医労連共済加入を組合員の特典の1つとして周知してきましたが、なかなか加入率のアップにつながりませんでした。今回の取り組みの内容として、まず「共済について知らせること」を目的に、新規加入を30件という目標を立て活動しました。内容としては、本部役員と各分会の共済担当者朝9時から夕方18時30分まで組合事務所に張り付き、興味のある組合員に対し、いつでも説明や加入手続きをできる体制をとりました。昼休みには、会議室を使用し、全職員に対しDVDを上映し、共済の素晴らしさを伝えました。

全6分会を回り、新規加入は21件と目標には届きませんでした。多数の説明希望者や上積み希望があり、助け合いの輪が広がったように感じています。

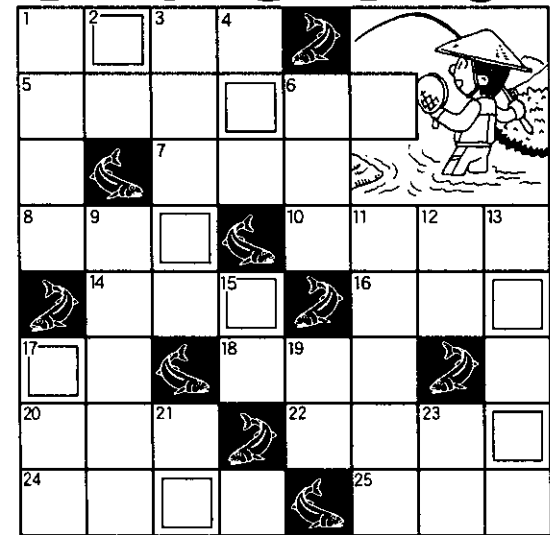
今後も組織拡大の一環として続けて行きたいと思っています。

福島県厚生連労働組合
書記長 長谷部 猛



共済に興味のある組合員に説明中

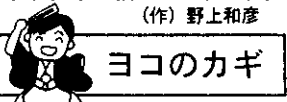
ザクロスワード



答

23 21 19 17 15 13 12 11 9 6 4 3 2 1
漢字で東風と書きます
言葉のもつ意味
だど
足が八本だとタコ、十本
山の古果に七つの子がいます
地図ではいつも上
小さな鈴の付いた打楽器
地獄
絶壁
エア
東京湾にあるパーキング
がら考えた本
夏目漱石が山道を登りながら
夏目漱石が山道を登りながら
東京湾にあるパーキング
エア
絶壁
小さな鈴の付いた打楽器
地獄
地図ではいつも上
山の古果に七つの子がいます
足が八本だとタコ、十本
だど
言葉のもつ意味
漢字で東風と書きます

【問題】タテ・ヨコのカギを解いてクロスワードを完成させてください。二重ワクの文字をうまくつなぐと、答えの言葉がでます。中の絵がヒントです。
(作) 野上和彦



- 1 入梅
- 5 椿のタネからとれる不乾性油
- 7 漆器に塗る樹液
- 8 筋の通った理由
- 10 日が沈む頃
- 14 枝を土にさして新しい株を作る方法
- 16 シワの寄るところ
- 17 草刈り用の道具
- 18 犯人を捕まえること
- 20 落とし話し
- 22 スーンと重い、ダルい…
- 24 リバーサルフィルムを映写機で投影
- 25 ソバよりもソバ湯に多く含まれます



- 1 相撲の技のひとつ
- 2 豆乳の膜でできた食品
- 3 表情などが他人とそっくりなこと
- 4 写真的・現実的なこと
- 6 漢字検定の分類で、へん、つくり等の総称
- 9 夏目漱石が山道を登りながら考えた本
- 11 東京湾にあるパーキング
- 12 エア
- 13 絶壁
- 15 小さな鈴の付いた打楽器
- 17 地獄
- 19 地図ではいつも上
- 21 山の古果に七つの子がいます
- 23 足が八本だとタコ、十本

読者の声

「欧州医療視察ツアー報告」の記事、大変興味深く読ませていただきました。ライフワークバランスの充実ぶりに感心すると共にスタッフに感謝の気持ちでいっぱいでした。共済の働きやすさ、勤務体制を整えることで離職を防ぎ、より質の高い安心できる医療を提供しているヨーロッパの病院に日本も近づけることを強く望みました。今回のように視察を外へ向けて進んだ医療環境と労働条件を考えると、大きな意義があると思います。皆さまお疲れさまでした（新潟）

私の職場からも「欧州医療視察ツアー」に参加された方がおられました。いろいろ話を聞くなかで日本では働ける人材はたくさんいても育児や家庭の都合で夜勤や1日8時間勤務ができない為に就職できない…もったいない事です。ウィーン州立病院での勤務体制を聞き、自分が働ける時間を2時間でも3時間でも自由に決めることができるなど、このような事が導入されれば、現場も少しづつでも手が増えればかなり助けになると思います。忙しい時は猫の手もかりたいですね（富山）

もうすぐ働き始めて1年になります。まだまだ足りない部分ばかりで勉強の毎日ですがみなさんの頑張りを、しっかりと自分の意見をもって、少しでも貢献していけるようにまた頑張りたいと思います（富山）

働きつづけたい職場環境を整えるためには女性のライフワークバランスを取り入れた労働条件の整備も必要だと思います。様々な労働形態も考え、様々時代になってきたと思います。潜在看護師の確保がカギになると思います（長野）

当選者10名様に図書券を差し上げます
クロスワードパズルの答えと本紙の感想などを添えて下記まで先へお送りください。
当選の結果は発送をもって代えさせていただきます。（4月号の答え：シンセイカツ）